



## 福井しあわせ元気国体・大会開催準備事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	国体推進局	課名	大会推進課 施設調整課 競技式典課 障害者スポーツ大会課	課長名	白崎 淳 小杉 敏明 吉田 浩樹 南谷 憲児
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な県政 ]			事業 区 分	■ 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H21 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 H30 年度
関連する県の計画等		政策	[ 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に ]				■ 県単	■ 補助金			
[事業目的]											
県民総参加による国体や障害者スポーツ大会の開催に向けた準備・検討を進める。											
[事業内容]											
競技会の開催準備 市町が実施するプレ大会への支援 国体・障害者スポーツ大会の競技用具の整備 宿泊、輸送、開・閉会式開催の準備 宿泊施設の確保および輸送計画の作成 式典における演技や音楽の制作 広報・県民運動の推進 ダンスコンテストの開催 国体・障スポの融合を推進 可搬式の車椅子用トイレ等の購入、プロモーションビデオの作成 市町が実施する融合推進イベントへの支援 県営体育施設の整備 テクノポート福井総合公園芝生広場の芝生改修 トリムパークかなづ体育館の床、照明器具の改修 リード競技用クライミングウォールの製作 市町競技施設整備費補助事業											
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		32,631	56,262	140,748	871,039	1,624,079					
2月現計予算額の推移		30,323	52,287	219,113	1,022,282						
決算額の推移		24,182	49,313	217,320							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	(目標) 実績								国体や障害者スポーツ大会の開催準備業務を確実かつ円滑に進める。		
活動指標	(目標) 実績	69	285	585	(300)	(300)			PR(スポーツ体験)イベント、パネル展、PRブース、出前講座、のぼり掲出、ダンス講習会の回数		
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井県、実行委員会、市町				
予算額	1,624,079	63,525		(寄・諸・繰入) 1,462,873	97,681	事業実施方法	直営、補助				
						補助率	(プレ大会への支援) 県1/2				

# 事業評価

事業名	福井しあわせ元気国体・大会開催準備事業	部局名	国体推進局	課名	大会推進課 施設調整課 競技式典課 障害者スポーツ大会課	課長名	白 寄 淳 小 杉 敏明 吉 田 浩樹 南 谷 憲児	
[事業の必要性・要求の背景]								
県民総参加の福井国体・大会を開催するため、式典・宿泊・交通・競技運営など国体・全国障害者スポーツ大会の成功に向け万全を期す。								
[受益者] 全国の選手・監督および福井県民				[想定される受益者数] 約80万人				
他県の状況	(開催1年前の予算額) 運営費のみ 平成26年 長崎がんばらんば国体・大会 1,333,550千円 平成27年 紀の国わかやま国体・大会 1,222,710千円 平成28年 希望郷いわて国体・大会 1,027,332千円 平成29年 笑顔つながえひめ国体・大会 1,184,769千円 平成30年 福井しあわせ元気国体・大会 1,104,050千円			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担) 事業名 競技力向上対策事業、障害者スポーツ振興事業  福井しあわせ元気国体・福井しあわせ大会に向け、有力選手の確保を進め、計画的に選手強化対策を実施する。			市町との連携状況	「県および会場地市町の業務分担・経費負担基本方針」に基づき業務を分担し、経費を負担する。 また、副市長、副町長で構成する「県・市町国体準備推進会議」を開催し、県と市町の連携を密にして、事業を実施する。			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
平成28年度は宿泊・輸送業務が確実かつ円滑に進められるよう実施計画を策定した。 また、新たに国体プレ大会への補助制度の創設や大会競技会場整備の基本設計を行った。 また、横断幕の掲出やカウントダウンボードの設置など広報・県民運動を展開した。		平成29年度は準備の最終年度となることから、式典や競技会場の具体的な設計や本番に使用する競技用具の整備などを行う。 また、国体のリハーサルを兼ねたプレ大会を県内14市町36種目、石川県1種目を開催することとしており、このプレ大会を開催する市町を支援する。			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充  <input type="checkbox"/> 継続  <input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 縮減  <input type="checkbox"/> 休止  <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し  <input type="checkbox"/> 完了  <input type="checkbox"/> その他	見直し額

## おもてなしトイレ整備推進運動

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	国体推進局	課名	施設調整課	課長名	小杉 敏明	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な県政 ] 政策 [ 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に ]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等		[ ]										
[事業目的]												
国体を契機に競技会場等のトイレを改修し、新幹線開業で増加が見込まれる観光客等のおもてなしやイメージアップにつなげる。												
[事業内容]												
<p><b>整備方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設の洋式トイレ化、温水洗浄便座およびオストメイト設備の設置</li> <li>・女性用トイレの擬音装置の設置</li> </ul> <p><b>実施箇所</b></p> <p>テクノポート福井総合公園スタジアム・芝生広場、奥越高原青少年自然の家、鯖江青年の家、三方青年の家、恐竜博物館、歴史博物館、美術館、若狭歴史博物館、一乗谷朝倉氏遺跡資料館、音楽堂、こども歴史文化館、児童科学館、陶芸館、図書館、若狭図書学習センター、総合グリーンセンター、内水面総合センター</p>												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					271,921	173,953						
2月現計予算額の推移					259,052							
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								選手や観覧者等が快適に過ごせる環境づくりを進め、新幹線開業で増加が見込まれる観光客等のおもてなしやイメージアップを図る			
活動指標	トイレの洋式化(基) (目標) 実績				(236)	(191)						和式トイレを洋式化した基数
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	福井県					
予算額	173,953		16,000		157,953	事業実施方法	直営					
						補助率						

# 事業評価

事業名	おもてなしトイレ整備推進運動	部局名	国体推進局	課名	施設調整課	課長名	小杉 敏明
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>一般家庭の約90%が洋式トイレを保有しており、高齢者や障害者、和式トイレになれていない若者などすべての人にやさしいトイレ環境は、おもてなしの重要な要素である。どんなに素晴らしい施設や場所であっても、トイレが不快だと悪い印象が残り、もう行きたくないという気持ちになってしまう。国体を契機に競技会場等のトイレを改修し、選手や観覧者等が快適に過ごせる環境づくりを進め、新幹線開業で増加が見込まれる観光客等のおもてなしやイメージアップにつなげる。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
全国の選手・監督および福井県民				約80万人			
他県の状況	[事業名] 和歌山おもてなしトイレ大作戦 [事業内容] ・様式トイレの導入 ・温水洗浄便座の設置 ・小便器の洗浄操作のセンサー化 ・オストメイト対応設備の設置	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (役割分担)	市町との連携状況	副市長、副町長で構成する「県・市町国体準備推進会議」等を利用し、おもてなしトイレの整備を依頼する。				
[事業の評価]							
前年度の実績	実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価				
平成28年度は競技会場や練習会場となる県有施設のトイレの改修を行った。	/		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
			<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		